

# 日販連通信

第 66 号  
2013 年 7 月 30 日 発行

発行者：日本販売農業協同組合連合会  
中塚 敏春

住所：〒151-0053  
東京都渋谷区代々木2-5-5  
新宿農協会館

電話：03-3375-6399 Fax：03-3375-6637

Eメール：[info-agricoop@pearl.ocn.ne.jp](mailto:info-agricoop@pearl.ocn.ne.jp)

## TPP交渉ただちに撤退を

食健連が新宿で街頭宣伝

暮らしや命、主権まで脅かすTPP

国益は守れません



日本政府は23日、マレーシアのコタキナバルで環太平洋経済連携協定(TPP)交渉に初参加しました。日本の参加を承認する米議会の手続きが終わったことを米交渉官が「協定寄託国」のニュージーランドに伝え、鶴岡公二首席交渉官が交渉の守秘契約に署名し、12番目の交渉国資格が認められました。

日本政府団は、数千ページの電子資料の閲覧が可能になりましたが、守秘契約によって交渉内容を公表でき

ないほか、協定発効後も4年間は交渉関連文書が秘匿されます。

24分野ですでに交渉が進展しており、マレーシア政府によれば24章中14章のテキスト化が終了しているとい  
います。「農産物5品目を守る」、「国民皆保険を守る」、「食の安全・安心を守る」、「国の主権を脅かすISD条項  
は認めない」など、政府・自民党が繰り返し主張してきましたが、守秘義務によって今回の交渉内容は全く明らか  
にされていません。

日本がTPP参加を表明後、「日本郵政とアフラックが提携」、「国家戦略特区で雇用規制緩和、残業、雇用を柔  
軟に」、「さらに抗がん剤は患者負担とする混合診療へ」など次々とTPPの日米並行協議の結果が出ています。  
農業だけでなく社会のしくみを変える動きであることが鮮明になっています。

次回TPP交渉は8月22日から30日にブルネイで開催、10月のAPECでの最終合意をめざしています。TPP  
交渉から直ちに撤退するよう運動を広めましょう。

## 「米屋さんと生産者をつなぐ交流会」のご案内

# 米価大暴落、新米価格に重大な影響！！

業者間取引3千円超の下落です。

東日本大震災以来、米価は不足感の広がりから高値が維持されてきました。しかし4月頃を境に業者間取引  
の価格が急落し、歯止めがききません。標準的な価格帯の関東産のコシヒカリの相場は昨年の秋に比べて3000  
円以上も下落し、それでも「買手が付かない」などの声も聞かれます。生産者はもちろん、在庫を持つ米業者にと  
っても事態は深刻です。

**宮崎県の超早場米概算金3千円下げ  
相対価格4千5百円下げでも買手は・・・**

宮崎コシの概算金が1万2千円、卸向け相対価格は1万6千円。ただし、主力の8月第2週以降は1万4500  
円程度が想定されています。それでも古米消化を優先する業者は必要最小限しか手を出さないと見られ、宮崎  
に続く産地の値下競争が懸念されます。

大手中心の米流通に対して中小の米卸や米屋さんは、産地との提携に生き残りをかける流れは変わりあせ  
んが、一方では今年産の取引や契約については相当慎重になることが考えられます。このような重大な情勢の  
下で開催される「米屋さんと生産者をつなぐ交流会」に是非ともご参加ください。

主催は農民連ふるさとネットワークです。

### ■東京会場

日時2013年8月25日(日) 午後2時～5時30分(予定)

会場東京都台東区花川戸2-6-5

台東区民会館 9階大ホール

### ■大阪会場

日時2013年9月1日(日) 午後2時～5時

会場大阪府大阪市都島区網島町6-20

大阪府私学教育文化会館

## 「産地の熱意はあるが、それでどうなの」

日本一ではなく、自分に合ったものを求める消費者の目線に立って考える

# 商品改善セミナーを開催



7月19日、第38回通常総会の後に「商品改善セミナー」を開催しました。

講師は良品工場の白田典子さんと東京駅コンコースで「ニコリーナ」というお店を運営しています。白田さんは流通の現場を体験するなかで、消費者不在のものづくりを痛感し、2001年につくり手、売り手、買い手をつなげる『いいものプロジェクト』をスタート。地域の商品を販売しながら集めた消費者の声を届けようと活躍されています。

今回は参加者が自分の産地の一品を持ち寄り、白田さんから直接アドバイスを受ける機会としました。手厳しいアドバイスもいただきましたが、どれも今後の改善に生かせるもので、参加者一同「率直に聞けて、本当に勉強になった」と感想を寄せていました。

アドバイスの中からいくつかご参考まで。

■単なる野菜、卵スープでは消費者はイメージが浮かばない。「玉ねぎと人参」、「青菜ときのこと」、「〇〇料理に使える」など味と使い方のイメージが持てるような商品名が大切。

■「あつあつ」、「やわらか」、「もぎたて」などの形容詞で「おいしそう」など勝手に消費者の期待値、バロメーターが上がる表示も必要で、固いなどマイナスイメージを越えることがポイント。

■商品の選択には、消費者、食べる人にメリット、決め手がはっきりしていることが必要。「生臭くない」、「あっさりしている」など堂々と言うことが大切。

■社会的な問題を言うと消費者は必ず一步身を引く。話が遠すぎて「そうですか」で終わってしまう。〇〇マイル、通い箱など自分の身に迫る取り組み





も必要です。

■単に野菜の品種を消費者に言っても消費者にはわからない。「揚げて美味しい〇〇」、「焼いて美味しい」、「丸ごと美味しい」など、特徴と野菜名で表示することが決め手になる。

■写真はおいしそうに見えるが、いきなり最初から3個パックは買わない。3個はスーパーの安売りと見られやすい。2個で、1個で高級感も必要。

## いわて生協が福島を訪問

有機野菜を共同購入で企画～「金額ではありません、生協本来の役割です」



7月12日、13日といわて生協の吉田商務、岩手中央青果株式会社の高橋さん、菅原さんが福島の被災地の視察、オーガニックふくしま安達の生産者との交流会に参加しました。

福島農民連事務所で佐々木参事から福島の現状、原発事故の影響、自然エネルギーへの取り組みなどについて説明を受けました。その後、福島市内の桃の生産者玉根清延さんを訪問し、原発事故による風評被害の実態、除染についての報告を受けました。玉根さんは「桃からはセシウムはほとんど検出されなかった。しかし、東電の事故での風評被害は大きく、全く注文が来ないという生産者がたくさんいた。うちでは生協や農民連の産直で3割減程度の影響で済んだ。やはり消費者との信頼関係が大切で、こうして福島に来て、現場を見てもらえる関係が何よりもありがたい」と語りました。

二本松市のオーガニックふくしま安達の関元弘代表にオーガニックコットンの圃場、有機きゅうりの圃場を案内してもらい、大麦などを畝間に栽培する雑草抑制の取り組みを視察しました。夜の交流会ではオーガニックふくしま安達の生産者がいわて生協を訪問して、組合員の皆さんと交流会をしたいと話が盛り上がりました。「注文が少なくて事業にならないのでは？」との質問に、「取り組みの目的は金額ではありません。福島の現実を一人でも多くの組合員に伝えることが生協本来の役割です」ときっぱり吉田さんが答えていました。

13日は飯舘村、南相馬市浪江町を福島農民連の亀田会長に案内してもらい、除染で使った汚染水を用水路に捨てたというマスコミ報道があり、現場も視察しました。

吉田さんは「今回の視察は私にとっては大変有意義でした。同じ被災県でもこれだけ違うということがはっきり分かりました。私にできることは、今までどおりこれからも福島県産品を組合員に案内していくことです」と感想を寄せてくれました。

## お知らせ 生消研が9月に福島現地学習会

9月7～8日の両日福島県二本松市で生消研の夏の現地学習会が「福島の現実(いま)をみつめて」というテーマで開催されます。講演会は「原発事故後の福島農業の実態と、復興に向けての取り組み」として菅野正寿

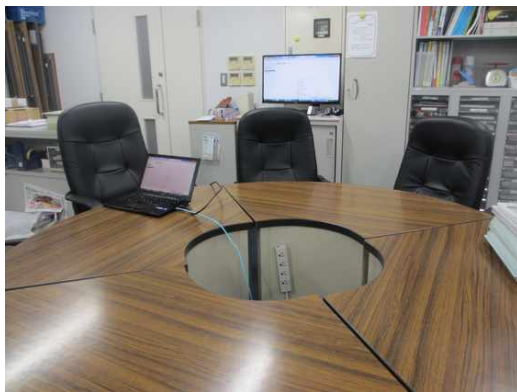
(福島県有機農業ネットワーク理事長)、実践報告として「原発事故と産直」服部崇(福島県北農民連 事務局長)、「地域に根差した酪農経営」佐々木光洋(佐々木牧場、「有機生産と原発」関元弘(オーガニックふくしま安達代表幹事)の報告があります。8日は農民連亀田会長が南相馬市、浪江町を案内します。

原発事故からすでに2年4ヶ月が過ぎましたが、全く復興が遅れた福島の実実を丸ごと学ぶ機会です。是非ご参加ください。

# テレビ会議の準備が完了

産地と本会が顔を見て会議ができます。

香港味珍味有限公司とビデオ通話試験



「同じことを職員ごとに電話してくる」、「出張と出張の間の進捗状況がわからない」、「電話で話したことが組織全体のものにならない」などを改善するために、組織間での定期的な会議をモニター画面を使って行うことができます。

香港味珍味有限公司と通話試験を行いました。海外と通話しているとは思われない臨場感でした。

インターネットを定額料金で契約されていれば電話代はかかりませんので、1時間の会議も無料です。

導入と活用を是非ご検討ください。

カメラ、マイク、スピーカー付きのパソコンがあれば、Skypeというソフトをダウンロード、アカウントなどの設定を行えばすぐにも始められます。ご不明な点がありましたら本会にお問い合わせください。

本会のアドレス [agricoop@guitar.ocn.ne.jp](mailto:agricoop@guitar.ocn.ne.jp) をコンタクト先に設定してください。

みなさまのご意見・ご感想をお待ちしております。 アドレス:[info-agricoop@pearl.ocn.ne.jp](mailto:info-agricoop@pearl.ocn.ne.jp)